保温材・防食材上からの肉厚測定（Ｌｙｆｔ）

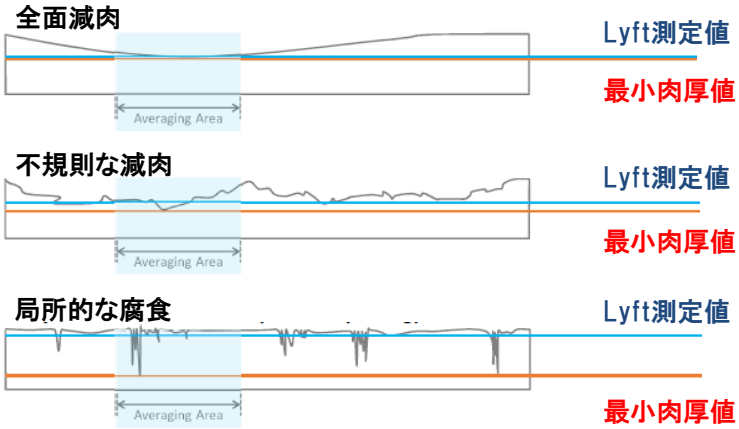
Lyft装置と各種プローブ

探傷状況

パルス渦電流法を使用することにより、保温材、防食材などを介して試験体表面に渦電流が誘起されます。その誘起された渦電流は試験体中を拡散、浸透し、試験体裏面に到達すると急激に減衰します。Lyftは、この渦電流の変化を測定することにより、試験体の肉厚を測定する装置です。また、試験体と非接触で測定可能な為、保温材や防食材を解体せずに、あるいは試験体表面を前処理することなく肉厚測定可能であり、保温材下の腐食(CUI)を効率よくスクリーニングするのに最適な装置です。

特　長

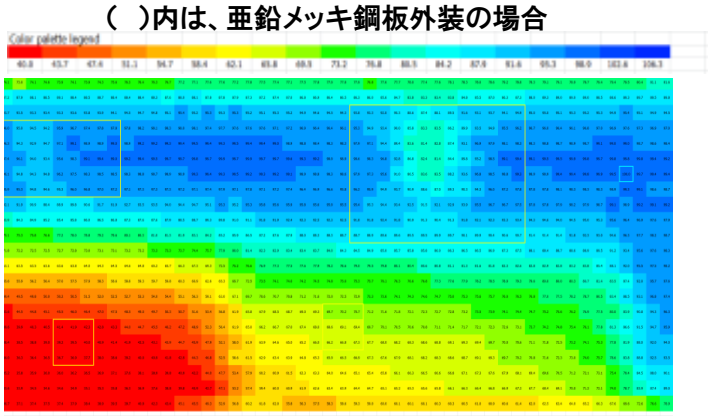
- 保温材、防食材上から測定可能
- 高温下での測定可能
- 稼働中検査が可能
- 全面減肉、エロージョンを検出
  （孔食は検出不可）
- 内外面減肉を検出
  （内外面の区別不可）
- 検査能率：1000点/日
  （亜鉛メッキ鋼板外装で）



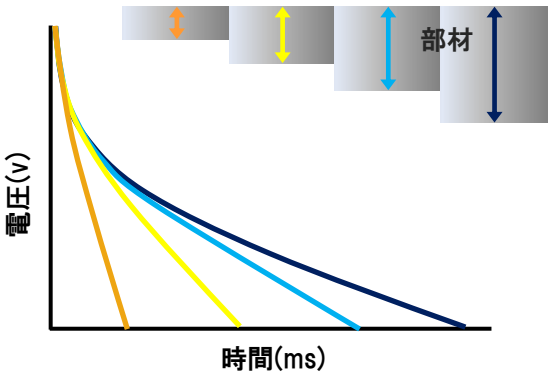
各種減肉形態におけるLyft測定値

適　用

- 測定対象物：炭素鋼
- 測定肉厚：最大100 mm(20 mm)
- 保温材厚さ：最大300 mm(100 mm)
- 配管径：1B以上
- 測定対象物温度範囲：-150 ℃～500 ℃
  （　）内は、亜鉛メッキ鋼板外装の場合



測定結果出力例



各板厚における減衰率変化